

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
2026年6月30日

PPIH グループ初のデジタル社債

お預かりした資金を若者支援に活用し、子ども食堂支援と学生生活支援を実施

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(以下、PPIH)は、グループ初のデジタル社債を、25年6月に申込受付を開始し実施しました。この度、デジタル社債でお預かりした資金を活用し、若年層応援として子ども食堂支援と学生生活支援を実施します。

この度の支援は、地域で子どもたちを支える居場所の提供を応援すること、学生の皆さまの毎日の暮らしを支えることの2つを主な軸として取り組みます。社会貢献というだけでなく、地域生活に寄り添う企業を目指します。物価高や生活コストの上昇が続くなか、日々の暮らしに近いところで、いま弊社にできる支援をかたちにしていきます。

■子ども食堂支援

地域に根ざして活動する子ども食堂を支援します。子どもたちが安心して過ごせる居場所作り、地域コミュニティのつながり作り、孤立防止、食支援、多世代交流などの取り組みを応援します。全国の子ども食堂が「地域の日常を支える拠点」として継続的に活動できるよう、『認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ』とプロジェクトを立ち上げ、全国子ども食堂への助成金(総額4,000万円)を寄付します。



▲写真右：認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター 理事長 三島 理恵さま
写真左：株式会社パン・パシフィック・インターナショナルフィナンシャルサービス 代表取締役社長 市川 康司

*** 子ども食堂とは *** 子どもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂。各地で自発的に運営され、多くは子どもを中心に幅広い世代の人たちが食を通じて交流する「みんなの居場所」となっています。制度の裏付けはありませんが、箇所数は12,602カ所(2026年3月時点)あることが明らかになっています。

■学生生活応援

学生のみなさまに向けて、食品や日用品など、毎日の暮らしに近いところで支援を行います。majica アプリ専用ページから応募・アンケートにご回答いただいた方の中から930名に35,000円相当のmajicaマネーを付与いたします(※すでにエントリーは終了しています)。学費そのものではなく、毎日の生活に必要な支出の一部を支えることで、少しでも安心して日常を過ごしていただけるよう後押しします。

■その他の取り組み

この度の若年層支援の一環として海外インターンシップにも取り組んでいます。これまでに夏・冬あわせて21名の学生が参加し、海外の弊社グループ社員とともにワークショップを行っていただきました。26年夏の実施に向けても準備を進めており、成長意欲の高い学生の皆さまとの接点作りにもつなげています。

インターンシップ詳細はコチラ(<https://www.ppihgroup.jp/recruit/newgraduate/intern/>)

■一般の方のお問合せ先 株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
HP(<https://ppih.co.jp/>)の「ご意見・お問い合わせ」フォームをご利用ください。